生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	前立腺がん診断における血中細胞外小胞タンパク質の有用性の検討		
1.研究の目的と方法	前立腺がんの診断に有効な診断薬を開発するために、血液中に存在する細胞外小胞を対象として、前立腺がんと診断された方とされなかった方の COPB2 の発現を調べることで、その有効性を検討します。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2025 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	2020 年 6 月から 2024 年 11 月までの間で、東京慈恵会医科大学附属病院において 18 歳以上の男性で、前立腺癌が疑われ前立腺生検を行われ、先行研究において研究用に血清が保存されている方。および健常人対照者として先行研究において研究用に血清が保存されている方。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	・血清	
	(2)試料の取得の方法	先行研究（(31-409(9991)：PSA グレーゾーン症例における血中マイクロ RNA の有効性に関する検討）で収集された検体を 2 次利用します。	
	(3)情報の種類	・患者基本情報：年齢、身長、体重、既往症、喫煙歴 ・疾患情報：疾患名、手術名、治療内容、病理結果 ・血液検査結果：肝機能、腎機能、脂質、PSA	
	(4)情報の取得の方法	過去の先行研究（(31-409(9991)：PSA グレーゾーン症例における血中マイクロ RNA の有効性に関する検討）で取得されたデータを二次利用します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　泌尿器科学講座
		氏名	占部　文彦
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　泌尿器科講座　伊藤景紀	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	慶應義塾大学　薬学部薬物治療学講座　准教授　松崎潤太郎（機関の長:有田誠）	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(4)に記載された共同研究者のもとに、以下の方法で集められます。 提供方法：血清サンプルに関しては、本学と慶應薬学部が近接していることから、手渡しにて提供します。臨床情報に関しては、追跡可能な方法で郵送、パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付、セキュリティのかかったクラウド上にアップロードされます。 試料・情報の利用または提供予定開始日：2025 年 2 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　泌尿器科学講座 研究責任者：助教　占部　文彦（うらべ　ふみひこ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3561） 対応時間：平日 10：00　～　16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。